

市報

やまぐち

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>
 koho@city.yamaguchi.lg.jp

育てよう！「地域力」

高めよう！「住民力」

P.3



輝くひと
地域で
高井邦子さん
(嘉川子ども館
「しゅっぽっぽ」
スタッフ)

2007 1.1

January
No.30



山口市議会議長 武田寿生

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい新年を健やかにお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

新しい山口市が誕生して、早一年余りが経過いたしました。本年は新しいまちづくりの指針となる「山口市総合計画」を策定し、地方分権社会に対応できる自治体経営の基盤を強化するとともに、県央30万中核都市の実現に向けて本格始動いたします。そして、新しい県都としてのまちの骨格づくりを進め、地域特性を生かした活力と潤いのある地域をつくり、安心して暮らせるまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

私ども34人の新しい議員で構成された新生「山口市議会」は、市民の皆様の負託にこたえるべく議会審議と議員活動の調査研究を行うため、分科会を議会内に組織し、改革を進め、県都にふさわしい議会運営と議会としての機能を十分に發揮して参ります。多様化する市民のニーズに対応し、時代に適合した行政経営を進めるため議員一同、決意を新たにいたしております。今後とも市民の皆様の格別のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

賀春



山口市長 渡辺純忠

新年あけましておめでとうございます。

すがすがしい新春を迎え、市民の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

まちづくりの基礎固めを行った平成18年に続く本年は、地方分権時代にふさわしい、自立する21世紀型の自治体を目指し、大いなる飛躍に向か、引き続き「県央30万中核都市の建設」「幸せが実感できるまちづくり」「市民に開かれ市民とともにつくる市政」の3つの基本方針のもと、誇りが持て、幸せが実感できるまちの創造に向けたチャレンジの年にして参りたいと考えております。

既成の概念にとらわれることなく、自らを見つめ直す厳しい目と、将来を見通す確かな目を持ちながら、「改革と創造に向けたチャレンジの気持ち」をエネルギーとして、市民の皆様と手を携えながら本市のこれからまちづくりを進めて参りたいと考えております。

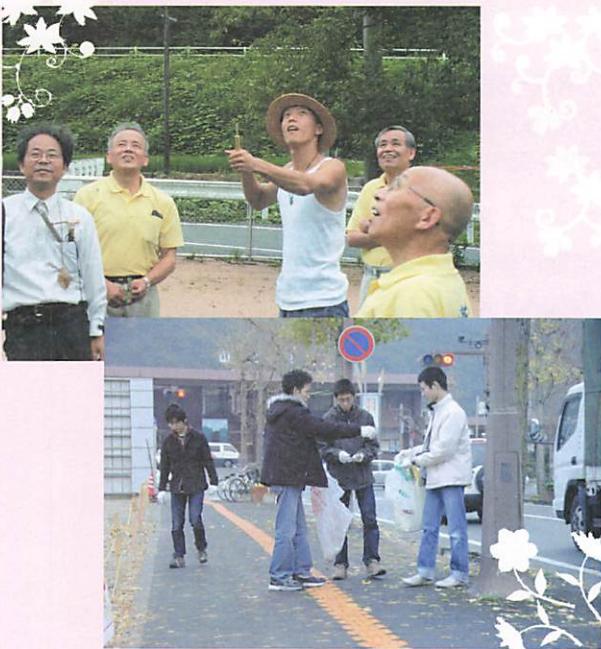
今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

特集

育てよう！

「地域 住民 力」

少子高齢化や核家族化などにより、以前ならご近所で解消できていた問題が、解決できなくなっています。そんな中、地域の力、住民の力で、身近な生活課題に取り組んでいるみなさんをご紹介します。



こんなにたくさん!

期間別

ご近所でできること



1 お気軽講座

市民のみなさんが聞きたいメニューから選んだ市の取り組みや知識を、市職員が出向いてお話しします。10人以上のグループから申し込みできます。

■問い合わせ 市生涯学習課(☎083-934-2865)

2 道と海の愛護ボランティア制度「クリーンネット」

市道や市管理の海岸などの清掃美化等のボランティア活動に使うごみ袋やほうきなどの物品を支給し、ボランティア保険への加入手続きと保険料負担を行います。

■問い合わせ 市土木課(☎083-934-2834)

3 公園美化ボランティア支援事業

市民が自主的に行う市管理の公園内の清掃や花壇の整備等のボランティア活動を、用具等の支給や保険への加入等を通じ支援します。

■問い合わせ 市都市計画課(☎083-934-2832)

4 法定外公共物原材料支給

里道や水路など、市名義の団地内道路を地元関係者で補修する際、碎石や真砂土、土のう袋、モルタル等の原材料を支給します。

■問い合わせ 市法定外公共物課(☎083-934-2711)

5 資源回収推進事業奨励金交付制度(つくし推進事業)

自治会や婦人会、子ども会など、利益を目的としない各種団体が行う自主的な資源回収活動に、回収量に応じた奨励金を交付します。

■問い合わせ 市ごみ減量推進課(☎083-934-2743)、その他各総合支所市民課

6 地域型つどいの広場設置助成事業費補助金交付事業

自治会を単位とした地域が、子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場を開設する場合、運営費用や整備費の一部を助成します(8ページ参照)。

■問い合わせ 市児童家庭課(☎083-934-2797)

7 防犯灯設置等補助金 反射鏡設置補助金

自治会等が行う防犯灯の設置・修繕費および電気料を補助します。複数世帯が活用する反射鏡を里道や私道に設置・修繕する費用を補助します。

■問い合わせ 市地域生活課(☎083-934-2757)、その他各総合支所総務課

2~3軒で
すぐには

自治会などで
じっくりと

※各制度の詳細は、各総合支所「市政情報コーナー」備え付けの「自治会活動の手引き」をご覧ください。

みどり 「孫の世代に残したい」美しいふるさとの景観

宮野観光会(宮野)

宮野自治会の下部組織として、宮野の景勝地を見学する催しなどを行っている同会(寺田吉雄 会長)。昨年度から江良地区で、町内会とともに「桜の里づくり」に取り組んでいます。300本の桜の植樹には「宮野地区全体を未永く桜の名所に。維持管理を通じ、住民の環境美化への意識を高められたら」との思いがあります。活動を通じ着実に、地域のきずなの輪が広がっています。



きれい 「ふれあいの輪」広げつつまちをきれいに

「ドリームプロジェクト」(平川)

「若者が清掃などを行う姿を見て、奉仕活動への関心を深めてもらいたい」と毎週土曜日、街中で活動中の山口大学のボランティアサークル。道行く人から「いつもいつも、ありがとう」と声を掛けられたときは、とてもやりがいを感じます。サークル名に込めた「地域に夢や感動を与えるような活動を」という思いの通り、活動の輪を広げていきます。



しげん 資源を回収しながら 広げる地域の輪

昨年から、自治会ぐるみで資源物回収に取り組み始めた関自治会。「収益は自治会活動の資金に充てています。『安易に寄付を募る前に、自治会で、できることから』と始めました」とは会長の栗屋金自さん。「回収活動でごみの排出量も減っており、続けていきたいですね。保管庫を作ろうとも話しています。自治会活動に参加する熱意の輪が、地域や市域全体に広がるといいですね」。



べんり 身近な道だから地域 ぐるみで安全・便利に



新聞・柏崎地区自治会(小郡下郷)

「機械で田を耕すようになり、道の傷みがひどくなつた」という新開自治会区長の織田村康雄さんは、両地区のみなさんと里道のくぼみに真砂土を入れ補修します。身近な道路は、地域の自分たちが一番よく知っているところ」と地域ぐるみで通行の安全を支えます。



しぜん 地域のシンボルの山だから だれでも登りやすく



ふるさと探訪会(小郡下郷)

毎年12月、石ヶ坪山の頂に飾られたイルミネーションが人々の目を楽しませています。「山頂からの眺望を、多くの人に知ってほしい」と登山道を整備し、山頂に鯉のぼりなどを飾り付ける同会(松本計事務局長)。鯉のぼりは、一年を通じ遠くからも望める同山のシンボルとして人々に愛されるなど、地域のきずなを強めています。



元旦登山の様子

からだ 楽しく続ける 「転ばぬ先の体力づくり」



岩倉健美操(阿知須)

東洋医学を取り入れた健康体操「健美操」の教室を毎月行う同会。日ごろの成果から、みなさんとてもいきいきしています。指導員の西山由美子さんは、目標を「体操を通じ免疫力・抵抗力を上げ、元気で活動的に。そして、なるべく長く自分のことを自分でできたら」と語ります。



きずな ゆたかな地域を 次世代に残すための交流行事

ゆたかな串を育てる会(徳地串)

過疎化が進む串地区では、高齢者をさまざまな面から支えることが課題です。同会(山本彰治会長)では「互いの顔が分かる地区の特徴を生かそう」と、多世代が励まし合い、きずなを深める行事を地区的団体とともに行っています。行事は、自然や味覚、ホタルなど地区的素晴らしいしさを打ち出し、地区外から訪れる人との交流が地区に何かを残せるよう、心配りがされています。



『グローバル交流in串』の様子

まもる 通学路を照らす 安心の光



黒湯北地区自治会(秋穂西)

昨年9月の台風被害で地区内の防犯灯が壊れたため、市へ相談したところ、助成制度を紹介され、活用しました。「民家が少なく、夜は明かりの少ない通学路を照らしていた防犯灯がすぐに復旧でき、地域の方からとても喜ばれています」と区長の吉田さん。



からだ 地域の健康は 「体験して受講して話して」から

玉川いきいきサロン(阿知須)

子どもを交えての「七草がゆ」作りなど、お年寄りの健康維持のための行事を行っている同サロン。主宰で民生委員の古川友信さんは、受講の成果を「保健師さんが認知症と転倒骨折の予防法について『まず外に出てお話をしましょう』と、私が日ごろお伝えしていることと同様に話され、みなさんの印象に残ったのでは」と語ります。



温泉巡りの様子

まもる 「地域の目」で 子どもたちを守る



防犯パトロールおおみ(秋穂東)

「安心して暮らせる地域づくり」を合言葉に結成された「防犯パトロール『おおみ』活動推進協議会」(福田浩一会長)。大海小児童への付き添いや立哨、駐在所との情報交換などを通じ、防犯への住民意識の高まりと秋穂地域全体への活動の広がりを目指し、熱心な活動が続います。



もっと知りたい! 地域力 住民力

事例集

地域の特性などにより、住民のニーズや力の合わせ方はさまざま。地域の力を高める秘訣を探ってみましょう。



引野同志会
(阿知須)



北の江東
自主防災組織
(嘉川)



顔の見える組織が支える地区ぐるみの安全避難

千拓地の河口部に位置し、毎年のようには台風や高潮で浸水を経験してきた嘉川北の江東地区。地区的自主防災組織は、平成16年の台風で避難勧告が発令された際、自治会員の所在が確認できなかつたことを教訓に、設立の機運が高まりました。

自治会を母体に組織を立ち上げた絆について、同組織隊長の吉岡修治さんは「元々防災意識が高かつた上、自主防災組織を設立する推進委員会などを通じ、避難時の課題や隊員の役割などを

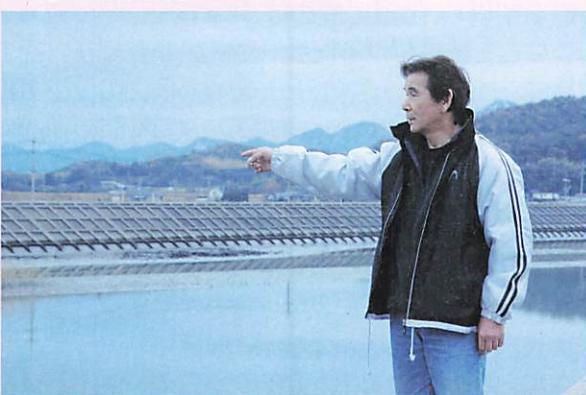
ど、住民相互が共通認識を持てたことが大きい」と語ります。

また、規約の策定に当たっては、市の認定要綱を参考にしつつ、地勢や気候など地区的特色に合わせたものにしたり、市職員のアドバイスを得たりと、市との協働により取り組みました。今後は、親睦行事の開催などを通じて、住民同士の「和」を広げ、平日の日中など、隊員の少ない際の声掛け合つての避難につながる活動を展開する予定です。

楽しみながら整える地域の資源と人の輪

地区内の道の整備や草刈り、盆踊りの主催などを行っている引野同志会。メンバーは、かつての青年団員を中心とする40~60歳代の15人。隣近所と顔を合わせる機会が、だんだんと少なくなる中、「みんなで集まる機会を持ち、地区のために何かしよう」と活動を始めた。

「せっかく集まるのだから、長年の間にふさがった地区的資源、六畳石への道をみんなで整えよう」と平成12年、貝塚や手掘りのトンネルなど、古代からいきたいですね」と語ります。



活用した市の制度など

地域づくり推進特別事業 地域が主体となって取り組む地域資源・個性を生かしたまちづくりや地域課題を解決する活動などを支援

■問い合わせ 市企画経営課 (☎083-934-2728)、
その他の各総合支所総務課



活用した市の制度など

市自主防災組織育成事業補助金

「市自主防災組織認定要綱」で認定された団体に、防災資機材の購入と地域の防災活動に係る経費を補助

■問い合わせ 市総務課 (☎083-934-2723)、
その他の各総合支所総務課



**援助
外出**

愛あい会
(徳地)



**支援
給食**

ふれあい型
給食サービス
(小郡)



地域のお年寄りに届けるあたたかい夕食と笑顔

毎月第2・4木曜日の午後、小郡地域のお年寄りに、ボランティア団体が笑顔を添えた温かい弁当を届けながら、声掛けを行っています。

「ふれあい型給食サービス」は、地域の一人暮らしを含む、全員が80歳以上の世帯の希望者を対象に、4つの団体が長年運営しています。「結びの会」は、献立や材料の量を計算し、弁当を手作りします。「おたよりの会」は弁当に添える手紙と俳画を「イラストボランティア」は包装紙に季節の絵を描き

「配達ボランティア」は配達と声掛け、と役割を分担しています。

届け先では「木曜日が来るのが待ち遠しい」と笑顔の中、会話が弾みます。結びの会副会長の高木須江子さんは「季節の野菜を持ち寄つたりして、会員みんなで協力しています。安全な弁当を届けるため、すべての具材にしっかりと火を通しています」と話します。継続の秘訣は「それぞれの得意な仕事を、無理せず楽しむこと」。

興味のある方、参加してみませんか。

徳地地域のホームヘルパー講習への参加を通じ出会った仲間で立ち上げた、ボランティアグループ「愛あい会」。お年寄りをお花見に連れて行ったり、障がいのある子どもたちとパンを作ったりする福祉活動のほか、地域のイベントを手伝うなど、さまざまな交流活動を行っています。

「地域の問題は、行政に任せきりにせず、実情に詳しい地域住民の手で解決していくことが大切だと思います。例えば、一人暮らしをしている高齢者

を近所同士で介護するなど、お互いが協力し合えるまちづくりを目指したいですね」と代表の秋山玲子さん。精力的な活動の原動力について、秋山さんは語ります。「活動を通じて、相手から学ぶことがたくさんあります。また、大原湖へお花見に行きました。つらいことがあったお年寄りがきれいな桜を見て感動する気持ちが伝わってきて、人生の喜びを共有できることも。一つひとつのお出会いが、自分の人生の糧になっていますね」。



みんなで取り組もう！明日へのまちづくり 「山口市総合計画」策定中！



現在市では「*山口市総合計画」の策定に当たり、公募を含む市民委員が分野別に市職員と成果目標等を協議する「市総合計画策定市民会議」、民間有識者等が計画を専門的・総合的に審議する「市総合計画策定協議会」…①、公募市民や地域から選ばれた委員が、総合計画を含む市全体の課題や今後のまちづくりの方向性を、地域ごとに考える「市まちづくり審議会」…②を開催しています。

①②については、自由に傍聴できます。詳しい日程等は、お問い合わせください（8ページも併せてご覧ください）。■問い合わせ 市企画経営課（☎083-934-2747）

*市総合計画…市が目指すまちの姿を実現するための最も基本となる計画で、市民と行政が一体となってまちづくりを進める上での長期的な方向性を示すもの

お知らせ

「市中心市街地活性化基本計画(案)」への意見募集

第4回山口市総合計画策定協議会

「山口市総合計画」の策定に当たり、本市全体の課題や今後のまちづくりの方向性について考える「山口市総合計画策定協議会」を開催します。

協議会は、自由に傍聴できます。
日時 1月12日(金)午後1時30分から

場所 山口総合支所(亀山町2-1)
3階 第10・11会議室

内容 まちづくり構想素案について
問 市企画経営課
(083-934-2747)

申問 1月19日(金・必着)までに、直接または郵送、FAX、Eメールで
住所、氏名、電話番号および「山
口市中心市街地活性化基本計画
(案)に対する意見」と明記し、意
見を記載の上、市中心市街地活性化
推進室(〒753-8650亀山町
2-1 ☎ 083-934-2654
FAX
✉ toshii@city.yamaguchi.lg.jp)

推進するため、現在策定中の「山口市
中心市街地活性化基本計画(案)への
みなさんのご意見をお寄せください。

■ 閲覧場所 各総合支所市政情報「一
ナード(市ホームページ参照)」
でもご覧いただけます)

市内外の小学校から一般までの吹奏
樂団による熱演。各団体の日ごろの練
習成果にて期待ください。
日時 1月20日(土)午前10時から
(午前9時30分開場)

場所 市民会館

料金 無料

問 やまぐち市民文化の会(市民会館
内 ☎ 083-923-1000)

市消防出初式



日時 1月7日(日)午前10時~午後
零時45分
場所 山口南総合センター(名田島
1-2-18-1)
内容 式典、観閲行進、一斉放水など
問 市消防本部警防課
(083-932-2202)

第11回ニューアイヤーバンドフェスティバル

受講料 無料
持用品 母子健康手帳、エプロン
託児 無料(要予約)
申問 1月9日(火)~12日(金)
までに、市徳地保健センター(徳
地堀1926-1 ☎ 0835-5
2-1114)

表紙写真説明



「嘉川子ども館『じゅつぽっぽ』」
は、市の「地域型つどいの広場設置助
成事業」を受け、平成17年に開館し
た、子育て家庭が気軽に利用できる
自由な交流の場です。

運営するのは、地区で長年活動す
る「嘉川子ども館『じゅつぽっぽ』」
い」(山村正子代表)。館内は、お母
さんや子ども、スタッフの笑顔であ
ふれ、温かな雰囲気に包まれます。

離乳食について学ぼう 「すくすく子育て学級」

「ト」には、好きな時に来て、好き
なように過ごしながら、お母さんが
ホッと一息つける場。みなさんお弁
当を持ってきたり、自由に過ごされ
てますよ」とスタッフで主任児童委
員でもある高井さん。「今後、地域の
子育て支援の担い手が増え、あち
こちにお母さんが気軽に集える場が
増えるといいですね」と赤ちゃんを胸
に、優しい笑顔で語られました。

【嘉川子ども館「じゅつぽっぽ」】

嘉川4311／毎週火・水・金曜日、
毎月第3土曜日開館 ☎ 083-
989-622533

休日当番医の変更(市報12月15日号 14ページ)

■ 1月6日(土) 外科 [変更前] 小林外科医院 → [変更後] 林病院(小郡下郷 ☎ 083-972-0411)
■ 1月20日(土) 外科 [変更前] 林病院 → [変更後] 小林外科医院(小郡下郷 ☎ 083-973-1515)

鶏類を飼育されている方へ
~高病原性鳥インフルエンザについて~

平成16年に県内でも猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザが、昨年11月に韓国でも発生しました。また一昨年から東南アジア地域でも発生報告が継続しています。今後も警戒してください。



- ・野鳥との接触を避けましょう
飼育ケージを点検・補修する。
防鳥ネットを活用する。
- ・水やエサの管理に注意しましょう
飲用に適した水や清潔なエサを与える。
- ・飼い方に気を付けましょう
飼育場所では専用の長靴を使用し、薬局などで販売している消毒液(逆性石けん液等)を使用する。
- ・異常があれば連絡をしましょう
5羽以上続けて死亡するなど、異常があればすぐに連絡をする。

■問い合わせ

県中部家畜保健衛生所(083-989-2517)、市農業振興課(083-934-2714)、各総合支所経済課

対象 保護者15人程度(先着順)
内容 講話、調理実習
日時 1月17日(水)午前9時30分~
11時30分

おおむね生後3~9ヶ月児の
【嘉川子ども館「じゅつぽっぽ」】

嘉川4311／毎週火・水・金曜日、
毎月第3土曜日開館 ☎ 083-

989-622533